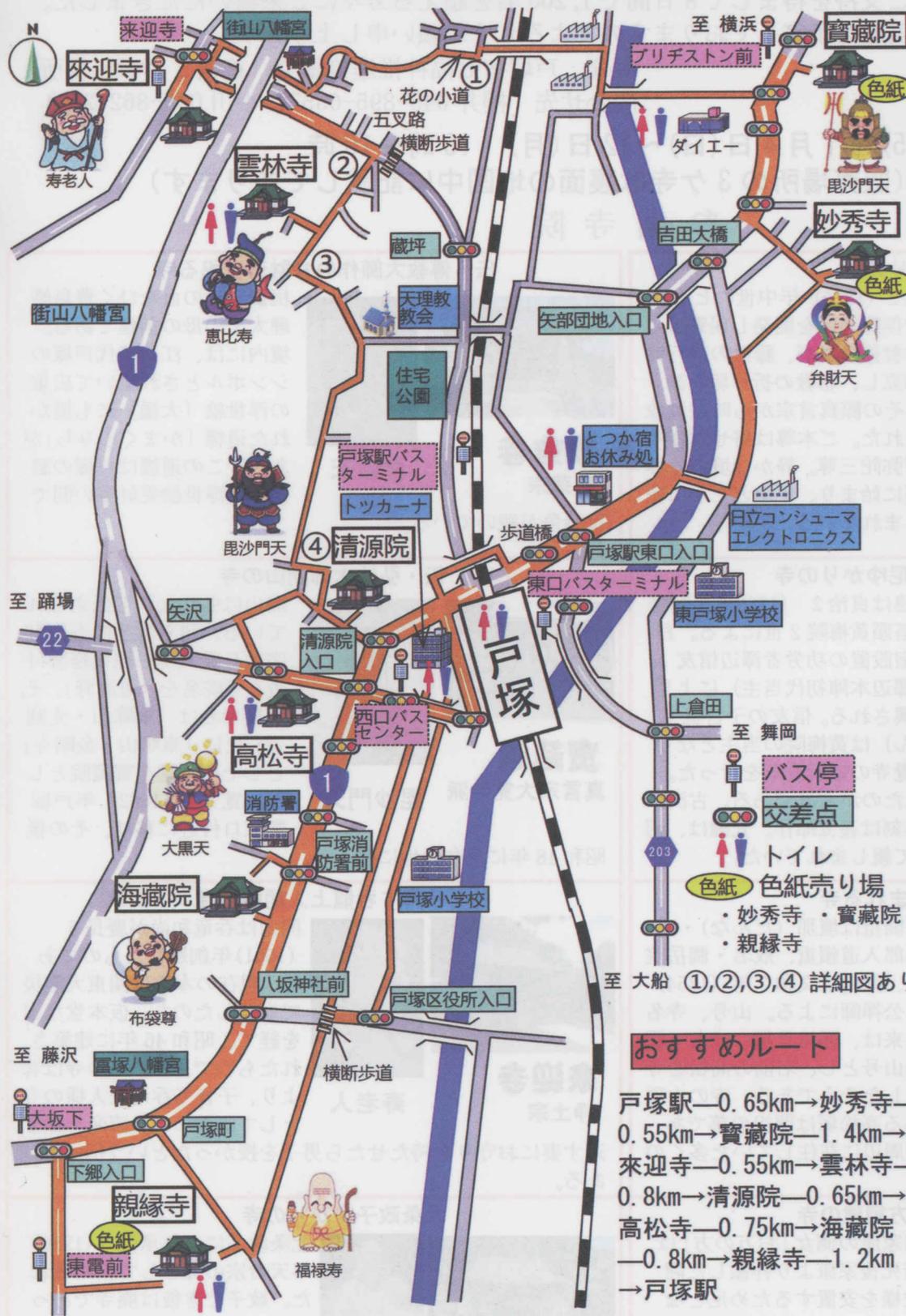


# 戸塚宿七福神めぐりマップ



①地点 詳細



②地点 詳細



③地点 詳細



④地点 詳細

## おすすめルート

- 戸塚駅—0.65km→妙秀寺—
- 0.55km→寶蔵院—1.4km→
- 来迎寺—0.55km→雲林寺—
- 0.8km→清源院—0.65km→
- 高松寺—0.75km→海藏院—
- 0.8km→親縁寺—1.2km
- 戸塚駅

平成 26 年に実施した結果、皆さまよりさまざまなご意見・ご要望をいただきました。それに基づき、より合理的に、より安全に皆さまを案内できるよう、案内ルートおよび色紙売り場の一部を改定し、さらに分かりにくかった曲り角に詳細図を付け加えることにしました。

# 戸塚宿七福神めぐり



ごあいさつ

平成 26 年 1 月よりスタートしました戸塚宿七福神めぐりは 5 日から 12 日までの期間限定で実施しました。多くの皆さま方からご支持を得まして 8 日間で 1,200 名を超える方々にご来場いただきました。明年も期間を限定しての実施を予定しておりますのでよろしくお願い申し上げます。

主催：戸塚宿七福神推進協議会 後援：戸塚区役所  
問合せ先 櫻井 045-895-0357、小川 045-862-2931

実施期間：平成 27(2015)年 1 月 4 日(日)～12 日(月) 10 時～16 時

色紙セット：1,000 円（販売場所の 3 ケ寺は裏面の地図中に記載してあります）

## 参画寺院

### 高浜虚子ゆかりの寺



**親縁寺**  
時宗



福祿寿

元応 2 (1320) 年中世のヒーローで俣野地区を開発し俣野五郎の曾孫呑海が、藤沢の遊行寺を建立し、布教の折戸塚を訪れ、その際真言宗から時宗に改宗された。ご本尊は寄せ木作りの阿弥陀三尊。静かな境内は春の桜に始まり、年中どこかに花が咲いている、花の寺として親しまれている。

### 伝・傳教大師作の弁財天を祀る寺



**妙秀寺**  
日蓮宗



弁財天

桓武平氏の血をひく豊島修理太夫の母の創建である。境内には、江戸時代戸塚のシンボルとされていて広重の浮世絵「大橋」にも描かれた道標「かまくらみち」がある。この道標は戸塚の謎として浮世絵愛好家の間では論争が続いている。

### 豊臣秀頼の息女・天秀尼ゆかりの寺



**海藏院**  
臨済宗圓覺寺派



布袋尊

創建は貞治 2 (1363) 年圓覺寺塔頭黄梅院 2 世による。戸塚宿設置の功労者澤辺信友(澤辺本陣初代当主)により中興される。信友の子古帆(こはん)は黄梅院の当主となり圓覺寺の宗旨改革を行った。

豊臣秀頼の娘・天秀尼に禅を教えたのが古帆である。古帆は左甚五郎とも付き合い山門龍の彫刻は甚五郎作。梵鐘は、昭和 40 年代まで夕べの時の鐘として親しまれていた。

### 伝・弘法大師開山の寺



**寶藏院**  
真言宗大覚寺派



毘沙門天

開山は弘法大師と伝えられている。建立場所は吉田町字大日谷(現戸塚税務署付近)寺院名を「東高野」。その後寺名は「東峰山・光圓寺」更に「東峰山・金剛寺」としその本堂を寶藏院とした。寛文 2 (1662) 年戸塚駅東口付近に移り、その後

昭和 18 年に現在の地に移った。

### 閻魔様で親しまれる寺



**高松寺**  
臨済宗圓覺寺派



大黒天

寺の開祖は壇那(だんな)・高松三郎入道頼重、戒名・潤岳院殿で、開山は文和 3 年(1354)龍甫公禅師による。山号、寺名の由来は、開祖且那の戒名・潤岳を山号とし、名前の高松を寺名にしたそうである。寺の山頂にある高松塚は開祖の墓である。

江戸～明治期にかけて、戸塚周辺に在住していた多くの俳人・歌人が眠っている。

### 子育て呑龍上人開山の寺



**來迎寺**  
浄土宗



寿老人

開山は呑龍和尚が慶長 6 (1601) 年創建したものである。現在の本堂は関東大震災で崩壊したのち、仮本堂などを経て、昭和 46 年に建築されたものである。この寺は昔より、子育て呑龍上人様の寺として賑わった。流産を繰り返す妻にお守りを持たせたら男子を授かったという伝承がある。

ある。

### 家康の側室・お万の方創建の寺



**清源院**  
浄土宗



毘沙門天

徳川家康の側女「お万の方」は、家康死後家康より拝領した阿弥陀様を安置するため尼となり、廢寺のこの地を得て清源院を創建した。本尊・齒吹阿弥陀像は全国に 17 軀あり、その内神奈川県には 3 軀ある。徳川將軍家との縁の深さから、本堂窓ガラスには大きな葵の紋が描かれている。参勤交代の行列は敬意を払って、門前で槍を横にして歩いたとの伝承がある。

### 北条政子ゆかりの寺



**雲林寺**  
曹洞宗



恵比寿

北条政子により承元 4 (1210) 年天台宗の寺として創建された。政子亡き後は廢寺であったが、応永 10 (1403) 年竹ノ下小次郎により修復された。竹ノ下小次郎は和田義盛の末裔で、北条と和田の幕府内抗争の和田の乱後、北条氏の権力を恐れ、この地の字名、竹之下を冠とし竹ノ下小次郎と名を変えこの地に住んでいた。

この地の字名、竹之下を冠とし竹ノ下小次郎と名を変えこの地に住んでいた。